

ちばだい プレス

CHIBADAI
PRESS

千葉大学
広報誌

2020

VOL.

53

AUTUMN



特集

学部・学科を越えた文理混合教育が進化

国際教養学部これまでとこれから

千葉大学 環境 ISO 学生委員会

千葉大学 OBOG インタビュー

研究室訪問



CHIBA UNIVERSITY

学部・学科を越えた文理混合教育が進化

国際教養学部のこれまでとこれから

2016年に国立大学初となる国際教養学部を設置して4年、千葉大学の国際教育・学際教育はどのように進化してきたのでしょうか。国際教養学部の軌跡と2020年に新設された大学院総合国際学位プログラムの展望から紐解きます。

対談

国際教養学部

小澤 弘明 学部長

国際教養学部 1期生 (2019年度卒)

山本 恭輔 さん (現 大学院総合国際学位プログラム修士1年)

この春、国際教養学部の1期生が卒業しました。卒業1期生である山本さんと小澤学部長に、4年間の歩みや学びの場として充実してきたこと、今後の展望などを語り合っていました。



小澤 弘明 (おざわ・ひろあき)
1980年東京大学文学部卒業。千葉大学文学部教授を経て、2014年より千葉大学教育改革担当副学長。2016年度に創設された国際教養学部の学部長も務める。専門は歴史学、国際関係論。



山本 恭輔 (やまもと・きょうすけ)
2016年、千葉県立千葉高等学校を卒業、同年、千葉大学国際教養学部に入学(1期生)。映画を題材に、人種やジェンダーについての研究を行う。2020年、同学部を卒業し、千葉大学大学院総合国際学位プログラム(修士課程)に進学。

用語解説

1)リベラルアーツ

問題解決力を養うために、文理の別や学問領域の垣根を超えて、多様な視点で幅広く知識を学ぶこと。グローバルな人材育成には必須のプログラムとして、海外の大学を中心に教養を身につける教育手法として定着している。

2)クロスメジャー

一般科目とは別に、複数のメジャー科目を学ぶことにより、学際的で柔軟な課題解決力を身につけるという考え方。千葉大学国際教養学部では、「現代日本学」「グローバルスタディーズ」「総合科学」の3つのメジャー科目を選択して学べる。

.....

せんでしたが、SULAの存在はとても頼もしかったです。先生方との距離も近く、カリキュラムについても学生側からのフィードバックの場を設けていただき、様々な提案をすることができました。今後ともこうした学生の声によってより良い学びの場になっていくのではないかと思います。

大学院の設置、同窓会発足など、活動はさらに広がる

—この4年間の成果を踏まえて、今後の展望を教えてください。
小澤 私は国際教養学部を、全学の教育改革を先導するという意味で「パイロット学部」と呼んでいます。ここでの取り組みを先進事例として、大学全体で改革を進めていきたいと考えています。また、この4月からは、国際教養学部と共通したコンセプトの大学院総合国際学位プログラムがスタートしました。千葉大学の国際教育、学際教育がさらに加速するものと期待しています。
山本 学部4年間を通して研究の面白さを知り、就職ではなく大学院総合国際学位プログラムへの進学を選びました。これから映画制作やエンターテインメントを意義あるものとして社会に還元する方法を考えていこうと思います。また、1期生の仲間と今後もつながりを維持できるよう、学部カラーの紫にちなんだ同窓会「紫友会」を立ち上げました。初代会長としてこちらの活動も盛り上げていけたらと思います。

学際的な学びで課題解決型の人材を育成

—1期生卒業についての感想をお聞かせください。

小澤 国際教養学部設置の目的は、課題解決型の人材を育成することです。その軸として、文理混合教育や全員留学、6ターム制といった教育改革を実施しています。1期生はこのコンセプトを十分に理解して入学し、教員とともにグローバル教育の柱を担う学部として育ててくれたと思います。

山本 実際に4年間学んで実感したのは、学際的な学びができるという点です。私は幼いころから映画制作に興味があり、エンターテインメントを学術的に研究したいと思って入学しましたが、ニューヨークへの留学で映画制作も学べ、映画のテーマとなる社会的な課題にも目が向くなど、総合的な映画の捉え方ができるようになりました。それは、この学部ならではの学び方だと感じています。

テラーメイド教育などが特徴

—具体的な学びの特徴と、実際に学んだ感想は？

小澤 学問の境界をあえて作らず、選択可能性を保証しているのが大きな特徴です。専門家育成は従来の学部学科でもできますが、社会課題が複雑化している今、学問の垣根を越えて俯瞰する視点で問題を捉え、専門家と専門家をつなぐことのできる人材が求められています。そういう学際的な課題解決力を鍛えるために、海外大学のリベラルアーツ¹⁾やクロスメジャー²⁾といった考え方を積極的に採用しています。

山本 私は、取り組みたい課題を自ら設定し、研究を深めていけるテラーメイド教育が印象に残っています。設定した課題を解決するために必要なテーマを学べるので、一つの課題に対して多様な視点から考察する力が身につきましたし、各自が自分のテーマを明

確にする手法を鍛えられるので、単に知識の積み上げでは終わらず、知識を課題解決のために活かす力が身につくのだと思います。

学習環境の整備を進める

—カリキュラムや施設、支援制度などの変化は？

小澤 学部棟は、もともと学生が自由に使えるよう配慮されたつくりですが、図書スペースやコミュニケーションサロンなど、利便性の面で学生の意見を取り入れ改善しています。また、国際教養学部には、教員とは別にSULA(p4参照)というアドバイザースタッフを配置していますが、この4年間で増員を図っています。さらに、世界情勢を踏まえ、物理的な留学だけでなく、オンラインで海外大学の講義を受けられるなど、グローバルな教育を実現する環境整備を進めているところです。

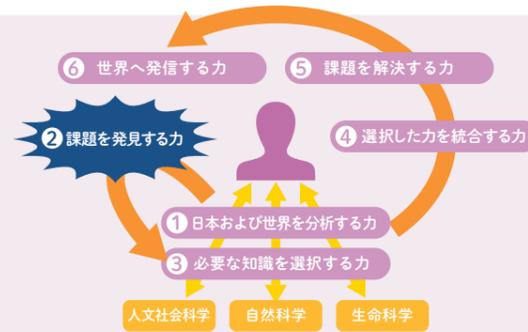
山本 1期生は先輩がいないので、何をやるにも前例がありま

国際教養学部 5つの特色

日本の力を新たな価値あるものとして世界に発信し続けることのできる
グローバル人材の育成に向けた5つの特色をご紹介します。

1 文理混合による課題解決型教育

総合大学の強みを活かした、文理混合教育を実践。また、課題解決型教育として、最初から決められた学問分野を出発点とするのではなく、日本および世界に生じている様々な事象を分析して自ら課題を発見することからスタートし、その解決のための知識を選択・統合し、解決能力を育む教育を実践しています。



2 テーラーメイド教育とSULAによる学修支援

学生一人一人が設定した課題に応じて、その解決のためにどのような科目を履修するか、課題解決に必要な活動体験や海外留学をいつどのように行うか、教員やSULA(Super University Learning Administrator)と呼ばれる学修支援スタッフが相談にのりながら、学生個々のニーズに合わせて「テーラーメイド教育」を行います。

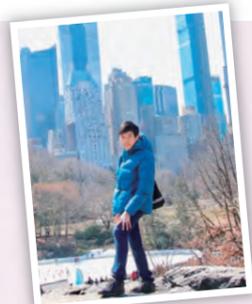
3 アクティブラーニング

千葉大学はアカデミック・リンク・センターやイングリッシュ・ハウスなど、学生が主体的に学べる場所を用意。また、双方向型授業設備の積極的な導入や、大学院生による学習支援制度の運用など、大学全体として学生の主体的な学びをサポートする環境を基盤として、アクティブラーニングを積極的に展開しています。



4 ソーシャルラーニング

世界と地域の双方を舞台にしたフィールドワーク、インターンシップ、ボランティアなどの活動体験を重視し、「現場で学ぶ・現場を学ぶ」学修を通して、理論だけでなく実体験に則した知識の活用と課題解決能力を育成。これらの活動体験は、事前学習・事後学習を通じて体系的な科目として構成され、体験によって得た学びを個々のものとしてとどめるのではなく、普遍的な課題として考えることのできる能力を育てていきます。



5 海外留学

異文化との接触、海外の学生との協働を通じた国際理解と日本理解の育成を目的に、卒業までに最低1回の留学を行うことを全学に先立って必修化。留学にも柔軟に対応可能なタム制(1年を6タムに分割)を活用し、難易度・目的・期間別に多様な留学プログラムを全学と連携しながら提供。2020年8月現在、258の海外の大学と大学間交流協定を結んでおり、3回以上の留学を経験した学生もいます。

Graduate Degree Program of Global and Transdisciplinary Studies

大学院総合国際学位プログラムがスタート!

神里 達博 学位プログラム長に聞く

2020年4月、千葉大学は日本で初めて、既存の大学院組織の枠組みを超えた異分野融合型学位プログラム「大学院総合国際学位プログラム」を新設しました。創設の狙いや概要、目指す方向性について、学位プログラム長である神里達博教授にお話を伺いました。

「大学院総合国際学位プログラム」

創設の狙い

学部学科や大学院で体系的に知識を積み上げる従来の学びは、個別の専門性を高めるうえでは効果的ですが、複雑化した社会の問題を解決するために、分断された知と知をどうつなげていくかが課題でした。既存の学問領域を超えて社会課題に向き合える人材、社会のなかで意味のある問いを発見し、ディスカッションやプレゼンテーションを通して課題を解決できる人材を育成することを目的として創設されたのが大学院総合国際学位プログラムです。

トランスディシプナリーを

前提とした教育を提供

既存の学問領域を超えた課題解決には、2つの考え方があります。1つは既存の学問を組み合わせることで課題解決を図る方法、そし

てもう1つは、課題からスタートし、解決のために必要な学問を検討し、場合によっては新たな学問を創造しながら解決にあたる方法です。大学院総合国際学位プログラムでは、トランスディシプナリーと呼ばれる後者を前提とした教育を行います。

3つの探求課題と

セルフ・デザイン・メジャー

大学院総合国際学位プログラムでは、多分野の知を組み合わせた探求課題として、「移民・難民研究」「科学技術社会論」「環境科学」の3つそれぞれを学修しつつ、学生が自主的に専攻を設計するセルフ・デザイン・メジャー(自己設計専攻)により自律的に研究計画を立案・実践していきます。



総合大学ならではの
取り組みで他分野に広がる可能性
単に教育を提供するだけでなく、社会の問題解決の拠点となるのが理想です。今後は例えば、企業や官庁などで課題を抱えている人がこの大学院に来て、文系/理系の垣根を超えつつ、千葉大学の知のリソースを縦横無尽に使いながら、解決の方法を模索するような場になればと思います。

大学院総合国際学位プログラム 3つの探求課題

移民・難民研究

グローバル化にともない、地球規模でヒトが移動しています。移動する人びとの福利を実現するにはどうすれば良いのか。政治・経済・社会・文化・生活のあらゆる側面から、公正な社会を実現するため、この問題に学際的に取り組みます。

科学技術社会論

科学や技術の発展によって社会はどう変わっていくか。科学や技術の政策やビッグサイエンスが社会に及ぼす影響は何か。科学、技術と社会の境界面で生じる様々な問題の解明に学際的に取り組みます。

環境科学

地球規模の気候変動と温暖化にともない、人間や動植物を取り巻く環境はどう変化しているのか。身近な地域のエコロジー、社会環境や都市環境の改善は生活の質をどう向上させるのか。学際的な研究に取り組みます。

神里 達博 (かみさと・たつひろ)
東京大学工学部卒。東京大学大学院総合文化研究科博士課程単位取得満期退学。三菱化学生命科学研究所、東京大学・大阪大学特任准教授などを経て、2016年に千葉大学国際教養学部教授、2020年に大学院総合国際学位プログラム長に就任。専門分野は科学史、科学技術社会論、リスク論。

千葉大学は環境マネジメントシステム(EMS)の国際規格であるISO14001*を2005年に取得しました。EMSを構築・運用するにあたり、学生の実務教育につなげるために、2003年に「環境ISO学生委員会」が発足しました。それ以来、17年にわたり、「学生主体のEMS」を実施しています。

執筆協力: 環境ISO学生委員会2年 張本伊奈、井後舞香、谷口明香里
学生委員会サイト <http://chiba-u-siso.xrea.jp/chibasiso/>



どんな組織?

大学運営に正式にかかわる学生団体

千葉大学の環境マネジメント組織の中に位置づけられた、EMS運用を通して大学運営にかかわっている唯一の学生団体です。毎年1~3年生まで約200名が所属しています。

EMS業務担当

基礎研修講師、内部監査員、審査議事録作成など大学のEMS運用の中核業務を、実習という形で担っています。授業ではEMSに関する知識や仕事の進め方などを学び、EMSに関する中核業務や様々な環境活動を実践します。

NPOとしても活動

2009年にNPO法人格を取得し、学内の委員会とNPOという2つの顔を持っています。NPOとしては主に学外での環境教育や里山保全活動に力を入れています。

SDGsに貢献

学内・地域の環境改善だけでなく、持続可能な開発目標(SDGs)の達成に向けた様々な活動を行っています。

単位と資格を認定

活動は「環境マネジメントシステム実習」として単位化されており、全学部の学生が履修することができます。そして、3年間活動すると、学長より「千葉大学環境エネルギーマネジメント実務士」という資格が与えられます。

どんな活動をしているの?

学内

環境マネジメント活動

4月には全学生・教職員向けの基礎研修講師、9月にはISO内部監査員を担当

省エネ啓発活動

ポスターやステッカー貼付、うちわ配布、イベント開催、エアコンフィルター清掃活動、レジ袋有料化に伴う基金を使ったエコグッズ作りなど

リユース・リサイクル活動

古本市、中古自転車販売、落ち葉の堆肥化など

緑化活動

緑のカーテンの作成、花植えプランターを構内に増やす企画など

環境教育活動

附属図書館にて年1回の環境関連書籍の貸出促進、附属幼稚園での環境教室など

サステナビリティレポート編集

毎年発行している大学の環境報告書の取材から執筆、編集作業



地域・国内

コミュニティガーデン

地域の方と一緒に花植えイベントなどを開催

環境イベントの開催と出展

年1回西千葉キャンパスで大規模な環境啓発イベントを開催しているほか、エコメッセやエコプロなどに出展

環境系会議での発表

国内の環境系会議に学生を派遣して、千葉大学の取り組みを紹介

出張エコ教室

地域の小中学校で環境に関する出張授業を展開



海外

海外での発信

海外の環境系会議においても学生が取り組みを発表するとともにサステナブルキャンパスの普及に向け意見交換



千葉大学 CHIBA UNIVERSITY × 京葉銀行 KEIYO BANK ecoプロジェクト



7色の虹を千葉から未来へ



環境ISO学生委員会と京葉銀行の「地域の環境に貢献したい」という思いから、2017年に発足したプロジェクトです。産学が連携することで、気候変動をはじめとする地球環境問題の解決に向けた、持続可能な開発目標(SDGs)の達成に寄与していくことができると考え、千葉県から地球環境保全に貢献するという目的のもと、毎年様々な環境活動を行っています。

公式サイト https://www.keiyobank.co.jp/ir/eco_project/

目的: 環境活動促進 + 地方創生 + 学生の社会勉強 → 地域活性・環境・SDGsへの貢献

プロジェクトの3つの柱

1 京葉銀行による
学生委員会の
環境活動支援

京葉銀行からの資金援助をもとに、国内外の環境系のシンポジウムや会議等で、学生による先進的な環境への取り組みを発信しています。3年間で630万円のご寄付をいただき、計13カ所(国内7カ所、海外6カ所)、延べ48名の学生を派遣できたほか、様々な環境活動に活用しています。

2 学生による
「エコアクション21」
取得コンサルティング

環境省の策定したEMSのガイドライン「エコアクション21」取得を促進するため、京葉銀行が千葉県内の取引先企業を紹介し、学生がそのコンサルティングや環境レポート作成補助を行っています。2019年度に1件のコンサルティングが完了しました(取得申請中)。

3 学生発案の
環境貢献企画

子どもから大人まで幅広い層に対して、環境意識の啓発につながるイベント等を行う企画です。学生はコンテンツ作成・当日運営を担当し、京葉銀行が主に個々の企画開催への段取りを行うことで、学生委員会の活動範囲を超えた交流を可能にしています。2020年度は非接触やオンラインの企画を増やして実施します。

学生発案の企画

千葉大生とともに考える環境ゼミナール

学生が研修講師となり企業関係者に対してオフィスにおけるエコなどの啓発を行う



都市鉱山発掘プロジェクト

学生が作った小型家電回収ボックスを銀行窓口に置き、市民から小型家電を回収(2018年度終了)



こどもエコまつり

子どもたちに対してゲームや工作を通じたエコ啓発を行うイベントを開催



映画祭Chiba

新宿中学校でジブリ映画を用いた環境教育授業を実施



千産千消フェア ~ちばを食べてエコしよう~

県内の農家等が出店する、地産地消や千葉の特産品を紹介するイベントを開催



エコ発信局

特設サイトやYouTubeなどを活用してエコ啓発を発信。地域活性につながるリーフレットの作成・配布



Chibaクリーンアクション

館山のNPOに協力し、海岸清掃や沖ノ島のアマモ再生活動に参加



京葉銀行エコチャレンジ

京葉銀行の各支店で紙資源の削減に努め、削減率の高かった支店を学生が表彰し、翌年啓発ツールを作成して全支店に展開



*環境マネジメントシステム(EMS)とは、環境保全に配慮した組織運営を進めていくとともに、その継続的改善を図る仕組みのことです。ISO14001は国際標準化機構(ISO)が定めた規格で、審査でEMSの運用が認められると認証を取得することができます。

ハッカーの技術を駆使し倫理観を持って、 ペネトレーション(侵入)テストを行う

株式会社ラック サイバーセキュリティ事業部
デジタルペンテストサービス部担当部長

北原 憲さん

悪質なハッキング防止のために 同業他社とも情報を共有

— ペネトレーションテスターとはどのような仕事ですか。

北原 ペネトレーションは「侵入」を意味します。インターネットが当たり前の時代になって、様々な利便性が高まった一方、大規模な情報漏洩や乗っ取りなど、悪質なハッキングも増えてきました。こうした状況を受けて、企業や官公庁などでは、サイバー攻撃に対するセキュリティの重要度が高まっています。ペネトレーションテスターは、お客様のネットワーク環境に実際のサイバー攻撃と同じような手法で侵入を試みることで、セキュリティがきちんと機能しているかどうかを調査する仕事です。

— 具体的な進め方について教えてください。

北原 まずはお客様からのヒアリングで、どのようなサイバー攻撃に対して懸念を抱いているのかをお聞きします。そしてお客様のネットワーク環境をチェックしたうえで攻撃のシナリオを提案します。テストの内容が決まったら実際にペネトレーションテストを実行し、その結果に基づいた報告書を作成したり、効果的な対策を提案したりします。ここで重要になるのは、

サイバー攻撃の手法は常に狡猾化しているので、日頃から情報収集をして備えておくことです。どのような攻撃にも対応できるようにしておくために、社内の分析チームと連携して知識の共有を進めます。さらに社外のセキュリティ技術者同士でもコミュニティを通じて情報交換をしています。サイバーセキュリティ業界内の連携が活性化し、高度な最新情報を共有できれば、それだけ悪質なハッキングを防止できることになるので、同業他社であってもテストの過程で得られた技術的な知見を共有することは大きな意義があると考えています。

自分が身につけた知識や技術が 安全なネット環境につながっていく

— ペネトレーションテスターの資質は？

北原 セキュリティのテストとはいえ、お客様のネットワークに侵入するのは、悪質なハッカーと同じ知識やスキルを持っているということなので、それを悪用しない倫理観が問われます。サイバーセキュリティが大きな注目を浴びるようになってまだ数年、ペネトレーションテスターの数もそれほど多いとは言えませんが、今後はますます需要が高まり、数も増えていくと思います。私たちセキュリティ技術者は、いわば「良いハッカー」としてモラルのある仕事をすることに誇りを持っていますが、後進にもそうした気構えを伝えていく必要があると思います。

— この仕事の難しさややりがいを教えてください。

北原 ペネトレーションテスターの難しさは、テストを実行する際、どこまで侵入し、どこまで攻撃するかを見極めなければい

情報社会でますます重要性を増すセキュリティ。
ネットワークをあえて「攻撃」することで
安全性の向上に寄与する
ペネトレーションテスターとして
活躍する北原憲さん。
仕事のやりがいや将来の夢、
千葉大学時代の思い出などを
語っていただきました。

北原 憲(きたはら けん)

株式会社ラック サイバーセキュリティ事業部
デジタルペンテストサービス部担当部長。千葉
大学理学研究科博士課程修了後、ラックに入
社。企業や官公庁のネットワークに攻撃を仕掛
けることでセキュリティ状況を調査する国内有
数のペネトレーションテスターとして活躍。
2020年4月より現職。



けない点です。いくらテストでも、お客様のネットワークにトラブルが発生して、業務に支障が出てしまっただけではいけません。しっかり原理を理解したうえで、的確な攻撃にとどめるさじ加減が必要になります。これは非常に困難ではありますが、逆にやりがいでもあります。セキュリティ技術者として知識や技術を磨いていけば、最終的には悪質なサイバー攻撃を未然に防ぎ、安全なインターネット環境を実現することにつながります。これは技術者冥利に尽きると感じています。

いずれは世界で認められる セキュリティ技術者になりたい

— 今後の目標を教えてください。

北原 サイバーセキュリティの重要性が増すなか、当社でもこの春、デジタルペンテストサービス部というサイバー攻撃専門の部署が設置され、私はその部署の担当部長として立ち上げに携わりました。以前よりも時間をつくることができ、またこの業界で名前が知られてきたこともあって、社内の仕事のほか、講演や執筆など、業務の範囲も広がってきています。こうした活動は、現時点では国内が中心ですが、今後は海外のカンファレンスなどでも成果発表や講演の実績を積み、世界中の優れたセキュリティ技術者から認められるような存在になっていくというのが目標です。

— 最後に、学生へのメッセージをお願いします。

北原 私の場合は、ペネトレーションテスターという特殊な仕事に就きましたが、大学時代の経験が役立っていると思うことがいくつもあります。それは、情報収集力や原理を理解する力、思考力、忍耐力といったものです。こうした力は、大学で勉強や研究に取り組みれば必ず身につけていきますし、ペネトレーションテスターに限らず、あらゆる業界、あらゆる職種で課題解決に活かせると思います。実は、私はもともと集中力がなかったのですが、研究室の先生に辛抱強く指導していただいたおかげで、一つのことにじっくり取り組む姿勢が身につきました。大学は、専門的な知識を学ぶだけでなく、自分に足りない面を補うチャンスの場なので、社会に出ても役立つような能力をしっかり身につけてください。



大学時代は自分に足りないところを指摘してくれる先生に恵まれたという北原さん。今後の後進の育成にあたって、当時の経験を参考にしたいという。



見城 倅治(けんじょう・ていじ)
千葉大学大学院国際学術研究院教授。立命館大学大学院文学研究科博士後期課程単位取得退学。1996年に千葉大学に赴任し、留学生センター専任講師、国際教養学部准教授などを経て、2020年より現職。著書に『留学生は近代日本で何を学んだのか』などがある。写真は辛亥革命赤十字隊記念碑にて。

歴史学を通して日本を捉え直す研究に取り組んでいる見城倅治教授。近年では、戦前期の留学生の追跡調査を行うなど、研究の幅を広げています。研究内容や最新の成果、学生へのメッセージなどを伺いました。

近代日本と東アジアの歴史を研究し、留学生との交流を推進 国際的視野を持った人材育成にも取り組む

研究内容について教えてください

私の専門は歴史学で、とりわけ近代日本の思想文化や東アジア圏での文化交流といった観点から日本を捉え直す研究を行っています。例えば、現在の私たちが持っている日本という国の自己認識は、周辺諸国による認識と比べたり、長い歴史過程での変化を検証して相対化していくと、そのイメージが実態を必ずしも正しく反映していないことがわかってきます。固定化された理解にとらわれずに日本のイメージを再検証していくことは、グローバルな考え方を築くためにとても重要で、周辺諸国との相互理解を促進していくためにも意義ある研究だと考えています。

私が担当している普通教育科目「日本イメージの交錯」は、こうした観点から世界の中での日本イメージを留学生も交える中で検討しています。一方近年は、2024年に変更される新1万円紙幣の肖像画に採用されたことでも話題の渋沢栄一が行った文化的社会的事業をまとめる研究なども進めています。

戦前期の千葉大学留学生の追跡調査もされていると聞きました

千葉大学の医学・薬学部の前身校である旧制千葉医学専門学校、千葉医科大学時代(1901年～1949年)は、中国、朝鮮、台湾から多くの留学生を受け入れていました。最盛期には、日本人入学者100名程度に対して10名前後の中国人留学生を受け入れていたといえますから、かなりの数です。私にとって留学生の足跡をたどることは、研究分野である近代日本の歴史や東アジア文化交流とも関連します。千葉大学に赴任したときに留学生センターの専任講師をしていたこともあり、留学生がど

のような目的を持って日本に留学し、その経験を祖国でどう活かしていったのか、そしてそれが日本のイメージや国際関係にどのような影響をもたらしたのかを掘り起こすことは、現代的な意義もあると考えました。それが留学生に関する歴史研究を始めたきっかけです。

研究からどのようなことがわかりましたか

外務省に残る資料や当時の新聞などから卒業した留学生たちの足取りを調査すると、中国の近代医学の発展に寄与した記録が残されており、日本での学びがしっかり活かされていることがわかりました。

帰国した留学生の活躍は、園芸やデザイン分野にも及びます。例えば、1925年に孫文が死去した際、墓所を含む「中山陵園」の設計・整備を担当した章守玉氏は、千葉大学園芸学部の前身、千葉高等園芸学校で学んだ留学生でした。

また、1911年に中国で辛亥革命が起き

た際、医業留学生たちが赤十字隊を組織して一時帰国し、革命軍・政府軍の負傷兵の治療に当たったという記録が残されています。亥鼻キャンパスの医学部本館前に建てられている記念碑はこの時のもので、教職員・学生もこの活動を支援したそうです。

こうした留学生をめぐる歴史を紐解くと、現在の千葉大学のグローバル教育に通じる当時の様子がうかがえるように思えます。

ちばだいプレスミニコラム「もっと知りたい千葉大学」を執筆していただいています

2012年12月に始まったこのコーナーでは、大学史や学部史のなかから「へえ〜!」と思うようなネタを40以上紹介してきました。先ほどの辛亥革命時のエピソードなど、様々な歴史と伝統を背負ってきた各前身校が、1949年に新制千葉大学になりその後も、それぞれの個性を発現し続けているのが、千葉大学の歴史の魅力だと思います。

ます。ぜひそういう視点でキャンパスを眺め直してほしいですね。

最後に学生へのメッセージをお願いします

歴史学を学んでいる私が皆さんにお伝えしたいのは、物事を考える土台として、常に時間軸を意識してほしいということです。過去に縛られる必要は全くありませんが、未来を切り開いていくためには先人の喜怒哀楽を顧みることも必要です。さらに、この時間軸に加え、アジアや世界といった空間軸を意識することで、グローバルな視点で日本を捉え直す目も養われていくと思います。毎日の生活の中で少しずつ、そのようなものの見方を身につけてくれることを期待しています。

もっと知りたい千葉大学
「もっと知りたい千葉大学」は、毎月トピックスにて連載中。▶ p.13
▼千葉大学ホームページでも公開中
URL: <https://www.chiba-u.ac.jp/general/history/history.html>



「辛亥革命赤十字隊記念碑」の落成記念写真(1912年)
1911年、清朝末期、内憂外患の中国を憂う、千葉医学専門学校の中国留学生が人命救済のため赤十字隊として帰国。その際、当時の狹生録造学校長たちが「緊急医療講習会」を開いたり、寄付を募るなどした。それに感謝した留学生たちが建立した碑である



上・下左:「千葉大学国際学生会(CISG)」の顧問として、日本人学生と留学生との交流・支援活動をサポートするほか、地域ボランティア団体による留学生との交流支援企画にも携わっている。CISGが主催する留学生の文化紹介「ユニバーサルフェスティバル」は56回を数えている 下右:中国での講演活動に招かれることも多い。写真は、学術講演会「実業家・渋沢栄一の中国留学生支援」(2017年9月16日、済南市・山東師範大学にて)

新型コロナウイルス感染症への大学の対応

TAKE ACTION on COVID-19

千葉大学では、新型コロナウイルス感染症の感染拡大対策として、各キャンパスへの入構制限やメディア授業（遠隔授業）の実施をはじめ、様々な対策を行ってきましたが、対面授業の一部実施や附属図書館のサービス再開（一部制限あり）など、変化もありました。ここでは、現在の大学の取り組みについてご紹介します。

TAKE ACTION on COVID-19

高等学校単位でのオンライン大学説明会を実施中

千葉大学では、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、ウェブ会議システムを利用した非対面型での大学説明会を開催しています。6月より申し込みを開始し12月までに約35校の高等学校を対象に説明会を実施予定です。8月27日には、専修大学松戸高等学校の1～3年生に向けて、説明会を実施しました。大学についての説明の後、個別に学生からの質問に回答しました。



各教室と中継し、約400名の生徒が参加した

TAKE ACTION on COVID-19

対面授業の一部再開と附属図書館の再開

8月より、対面での授業を一部再開しました。学生には受講の際は間隔をあけて着席し、マスクを着用するよう義務付けています。教員もフェイスシールドを着用するなどの工夫をして講義を行っています。また、附属図書館は学内者を対象に入館の制限を解除しました。本の貸出だけでなく一部座席の利用も可能になり、熱心に学習する学生の姿が再び見られるようになりました。



対面授業の様子



図書館では、机に貼紙をし、座席の間隔を保っている

TAKE ACTION on COVID-19

課外活動が段階的に再開、学生有志による除草作業を実施

8月より、課外活動も感染予防対策を講じ、段階的に再開しました。活動には様々な制限がありますが、その中でも学生たちは工夫をして練習に励んでいます。また、課外活動の再開に先立ち、7月27日および28日の2日間、千葉大学体育会サークル所属の有志の学生により、西千葉キャンパス野球場等の除草作業が行われました。参加した教育学部4年の佐藤翼さんは、「最初はグラウンドの状態に驚きました。暑かったです。普段の練習環境は周りの人たちに支えられているということも実感できました」と語りました。



左上：「ラグビー部」大勢との接触を避けるため、グループ分けをしての練習 左下：「男子バレーボール部」ボールに直接触れないよう工夫をしたトス練習 右上：有志の学生たちによる除草作業の様子

INFORMATION

県内医療従事者・保健師へ「ながらとガラナ いろはにほへと」を贈呈

8月11日、千葉大学の学生らと長柄町役場の職員が千葉県庁を訪れ、共同開発した特産品飲料水「ながらとガラナ いろはにほへと」を千葉県健康福祉部および千葉県病院局へ149ケース（4,470本）贈りました。この飲料水は、千葉大学と包括連携協定を結ぶ長柄町をPRする特産飲料として学生たちが企画、開発、



感謝の気持ちを込めて応援メッセージとともに贈呈した

デザイン、プロモーション戦略の策定を一貫して行い、2020年2月に完成しました。

もっと知りたい千葉大学

文系学部の誕生

1949年に誕生した新制千葉大学に、本格的な文系学部が設置されたのは、文理学部が改組され、人文学部と理学部が生まれた1968年のことでした。人文学部は1981年に文学部と法経学部（2014年法政経学部と改称）へと発展し、人文科学と社会科学について、より深く学びかつ研究する態勢が完成しました。それから40年が経ち、両学部の存在意義はますます大きくなっています。（大学院国際学術研究院 見城梯治）



1978年3月に竣工した人文学部新館

OBOG MESSAGE

『人』と『技術』の融合による総合情報サービス企業

トランスコスモス株式会社

MICHAEL SUSANTO SLAMETさん / 菊池 菜々子さん

どんなお仕事をされていますか

菊池：建築技術支援を行う部門で人材育成に携わっています。お客様は建設・住宅業界のトップ企業です。毎年多数入社する新入社員、中途採用社員に対して、業務開始前の事前教育や、既存社員の技術力アップ教育および各社員にあった教育プログラムの作成やキャリア支援を実施しています。

SLAMET：デジタルエクスペリエンス本部センター統括部オプショア課という部署で、海外（オプショア）にある自社のグループ会社（センター）の管理や支援・推進業務を行っています。将来、海外事業統括に異動したら、事業部で培った経験と語学力を活かし、海外拠点の更なる拡大に貢献したいと思っています。

学生時代に熱中していたことは

菊池：都市デザイン分野を専攻しており、デザインコンペへの参加など

のグループでの創作活動に熱中しておりました。常に創作のアイデアを考えたり、街歩きをしたり、模型を作ったり、充実した日々を過ごしていました。

SLAMET：プログラミングを専攻していて、CISGという留学生支援団体とアカペラサークルに所属し、楽しいキャンパスライフを送っていました。

学生の皆さんへ

菊池：現在、働き方が大きく変化しています。だからこそ、「どこで働きたいか」ではなく「何をしたいか」を考えてみてください。トランスコスモスでは、建築業界のみならず、様々な業界の企業様と業務を行っております。皆様が興味のある分野のお仕事が見つかると思います。

SLAMET：大学時代に制作したもの、考察したこと、成し遂げたこと、サークルやアルバイトで経験したことは、社会人の世界に踏み入る際の資本になります。大学生活を大切にしつつ、好きなことをはじめ、様々なことに挑戦していただければと思います！



MICHAEL SUSANTO SLAMET (マイケル・スサント・スラメット)
2016年 大学院工学研究科 人工システム科学専攻 メディカルシステムコース修了



菊池 菜々子 (きくち・ななこ)
2007年 大学院工学研究科 建築・都市科学専攻 都市環境システムコース修了

トランスコスモス株式会社

<https://www.trans-cosmos.co.jp/>



トランスコスモスは、1966年6月にデータエントリー企業として創業し、ITの進化とともに多彩なアウトソーシングサービスを様々な分野に提供してきました。グループ全体で58,516名（うち千葉大学の卒業生25名）在籍しており、平均年齢が36歳と若く、新しい事業も若手を中心になってどんどん進めるオープンさと活気が特徴です。変化を恐れず革新・想像に挑戦できる環境の中で、幅広い「人間力」のある人材を求めています。





CHIBATOMO NEWS

千葉大学マスコット「ニシ」、「イノ」、「マツ」より
ニュースをお届けします！

vol.02

CHIBATOMOものがたり 6時限



ニシ 月におばあさんが住んでいて、たまにロケットで遊びに行っている。
イノ 5人兄弟の末っ子。お兄ちゃんたちは飛ぶのがとてもうまい。
マツ 実家がお花屋さんで、子どもころはお花が苦手だった。

CHIBATOMOとは…

2019年に千葉大学に誕生した、3つのキャンパスをかたどったマスコット、うさぎの「ニシ」、かめの「イノ」、さいの「マツ」の3人組。

千葉大生の1日

千葉大生はどんな1日過ごしているんだろう？
ニシ・イノ・マツが体験してみました！

やよい通り



～ 8:30 通学

今日は7時限目から講義。
緑が気持ちいい！

プレゼンの演習。
みんなの前で話すのは
ちょっと緊張。



8:50～ 講義

がんばれ！



フードコート

いただきます！



12:00 お昼休み

ライフセンター

どれにしようか
迷っちゃうなあ。



附属図書館



14:00 空き時間

次の講義までの
空き時間に勉強！

体育系・文化系・音楽系
合わせて200以上の
サークル・部活動が
あるんだって。



課外活動

議論も
白熱するよ！

「新型コロナウイルス感染症拡大に伴う緊急支援事業」ご支援(ご寄付)のお願い

新型コロナウイルスの感染拡大により生活に影響を受けている皆様に、心よりお見舞いを申し上げます。事態の一日も早い収束と、皆さまのご健康を心からお祈り申し上げます。

千葉大学においても、感染拡大による影響は甚大で、学生の保護者様の経済状況悪化や学生本人のアルバイト収入の減少によって、学業の継続が困難となる事例や、メディア授業に対応するために通信環境改善のための出費が工面できない等の声が数多く寄せられています。

そこで千葉大学は、これらの学生を支援するため、3億円規模の緊急支援事業を立ち上げました。

皆様方の中にも、新型コロナウイルス感染症によって大きく生活が変動された方もいらっしゃると思います。それを承知しながら、改めてご寄付のお願いを申し上げるのは大変心苦しくありますが、未来を担う学生たちの学びを止めないためには、更なる充実した財政的下支えが必要です。

このたび、教職員や卒業生をはじめとして、個人・団体・法人の皆様より新たなご寄付をいただくことで、学生たちへの支援を力強く継続して参りたいと考えております。

皆様の心温まるご支援をよろしくお願いいたします。



千葉大学長 徳久剛史

本事業への寄付状況

寄付金総額 **58,070,488円**

寄付者数 **2,039名**

※2020年7月15日現在

支援を受けた学生の声

アルバイトによる収入が全くなり、また家族の収入状況も厳しくなってしまったため、この度、支援をいただけることになり、皆様に大変感謝しております。

千葉県から離れ宮城県で大学の講義を受けていたのですが、ご支援のおかげで快適な環境で講義を受けることができました。

ご支援をいただいたことに恥じぬよう、最後まで真面目に学生生活を送り、卒業後も立派な研究者として自立できるよう努力いたします。

寄付者の声

新しい時代を担う後輩の皆様に、少しでも力になればと思いました。厳しく大変な時ですが、諦めず、共に頑張りましょう！

日本人・外国人を問わず、千葉大学で学ぶ全ての皆さんが安心して学業を継続できることを願っております。知は力となります。支えあって乗り切ってください。

一人の卒業生として千葉大生の皆さんを応援しています。どうか、大学・大学院で自分の志した学問を修め、社会のどこかを支える人間になってください。

お申し込み方法

銀行・ゆうちょ窓口でのご寄付

千葉大学基金室(043-290-2014)までご連絡ください。
お名前・ご住所をお伺いし、振込用紙を送付いたします。

クレジットカードでのご寄付

千葉大学SEEDS基金のホームページからご寄付をお願いいたします。

古本募金によるご寄付

千葉大学SEEDS基金のホームページから「古本募金」へお進みください。
※現在、一部業務を縮小して対応しています。

遺贈によるご寄付

遺贈によるご寄付も承っております。
詳しくは、千葉大学基金室(043-290-2014)までご相談ください。

お問い合わせ先 **千葉大学基金室**

FAX 043-284-2550

メール kikin@office.chiba-u.jp

☎ **043-290-2014**

ご不明な点がございましたら、遠慮なくお問い合わせください。

ホームページ <https://kikin.chiba-u.ac.jp>

千葉大学SEEDS基金

住所 〒263-8522 千葉市稲毛区弥生町1-33



INDEX VOL.53

02 国際教養学部のこれまでとこれから

今春、国際教養学部1期生の卒業に合わせて新たに大学院を設置。進化する文理混合教育の学びの場に迫る。



02

06 千葉大学 環境 ISO 学生委員会

学生主体の委員会にして NPO 法人でもある「環境 ISO 学生委員会」の取り組みを紹介。



06

08 千葉大学 OBOG インタビュー

企業ネットワークへの攻撃を未然に防ぐセキュリティ技術者の OBOG が登場。



08

10 研究室訪問

歴史学を通して日本を捉え直す
—千葉大学 大学院 国際学術研究院 見城研究室 見城 悌治 教授—



10

12 TOPICS / もっと知りたい千葉大学

14 CHIBATOMO NEWS

